ZENRIN

2027年3月期 第2四半期(中間期)
決算説明資料

2026年11月17日

Maps to the Future

株式会社 ゼンリン

目次

ZENRIN
Maps to the Future

1. 2027年3月期 第2四半期(中間期) 決算概要

2. 2027年3月期 通期業績予想

3. 各事業の概況

Appendix

注) 本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。
尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数は切捨て、増減率は小数点以下第2位を四捨五入し小数第1位まで記載しております。
また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

1. 2027年3月期 第2四半期(中間期) 決算概要

ZENRIN
Maps to the Future

1) 決算概要
2) 売上高・利益の推移
3) EBITDA・営業利益の増減 【売上高・費用内訳】(前年同期比)
4) 事業別売上高の増減
5) キャッシュ・フロー
6) 配当金

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

1）決算概要

ZENRIN
Maps to the Future

決算のポイント　【 売上高は6期ぶりの減収、各利益も3期ぶりの減益 】

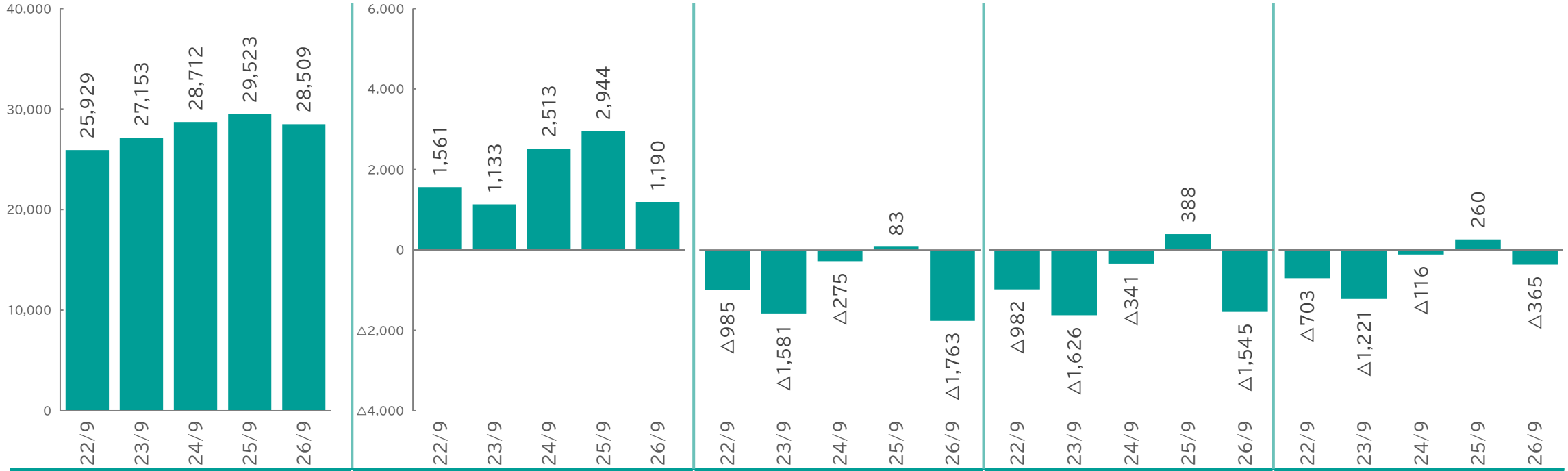
- 売上高は、公共ソリューション事業における前年同期の反動減などにより、前年同期比10億円の減収。
- 利益面では、減収影響に加え、ベースアップによる人件費、成長投資やサービス基盤関連費用の増加により各利益は減少。（※費用増加は期首業績予想に織り込み済み）
- 経常損失15億円を計上した一方、投資有価証券売却益などの特別利益により、親会社株主に帰属する中間純損失は3億円。

（金額単位：百万円）	① 前年同期実績（2026年3月期2Q）	② 当期実績（2027年3月期2Q）	前年同期比（②－①）	増減率
売上高	29,523	28,509	△ 1,014	△ 3.4%
営業費用	29,440	30,273	＋ 833	＋ 2.8%
EBITDA	2,944	1,190	△ 1,753	△ 59.6%
（EBITDAマージン）	10.0%	4.2%	△ 5.8pt	-
営業利益	83	△ 1,763	△ 1,847	-
（営業利益率）	0.3%	△ 6.2%	△ 6.5pt	-
経常利益	388	△ 1,545	△ 1,933	-
親会社株主に帰属する中間純利益	260	△ 365	△ 626	-
ROE（自己資本当期純利益率）	0.5%	△ 0.8%	△ 1.3pt	-

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

2）売上高・利益の推移

（金額単位：百万円）



	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
前年同期比（増減率）	△ 1,014百万円（△ 3.4%）	△ 1,753百万円（△ 59.6%）	△ 1,847百万円（－）	△ 1,933百万円（－）	△ 626百万円（－）

6期ぶり 減収

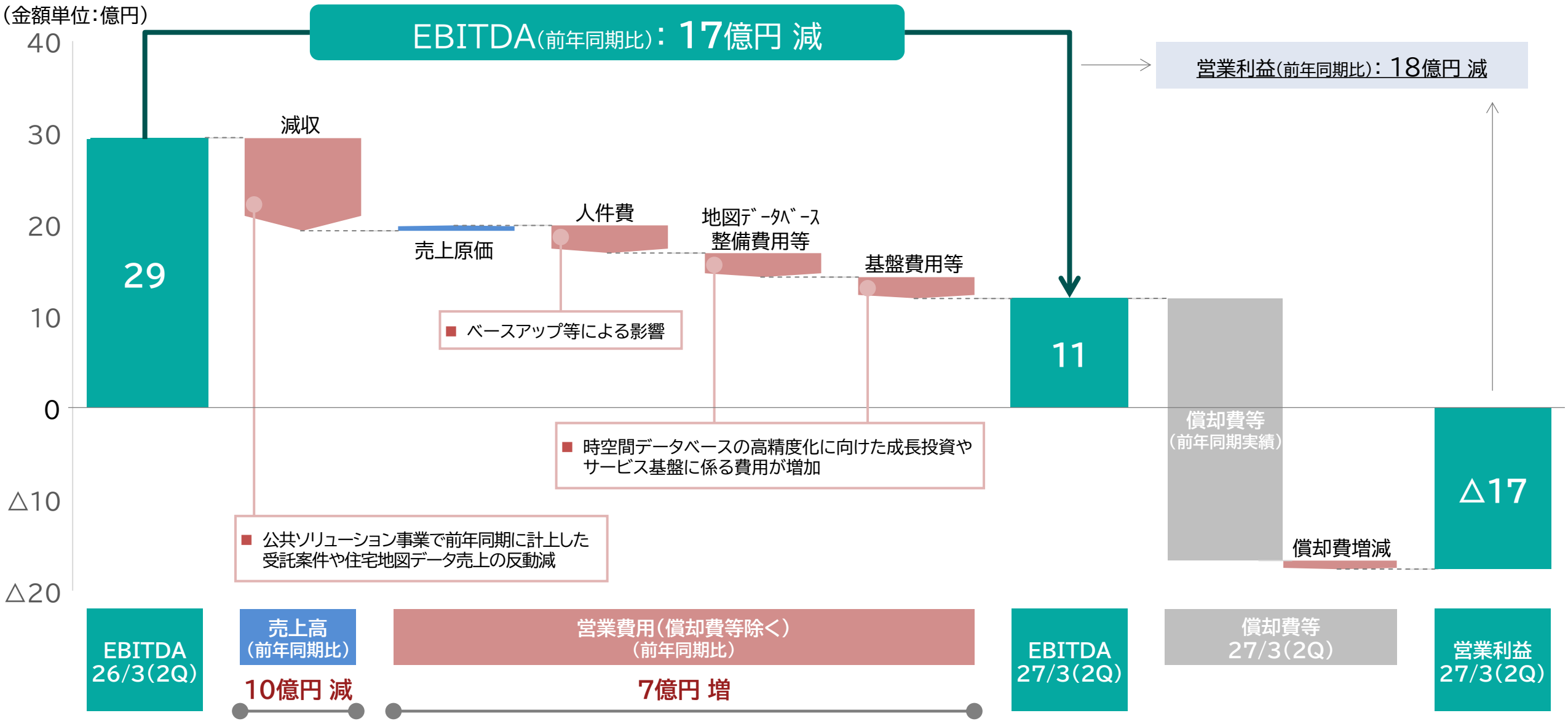
3期ぶり 減益

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

3）EBITDA・営業利益の増減 【売上高・費用内訳】（前年同期比）

ZENRIN
Maps to the Future

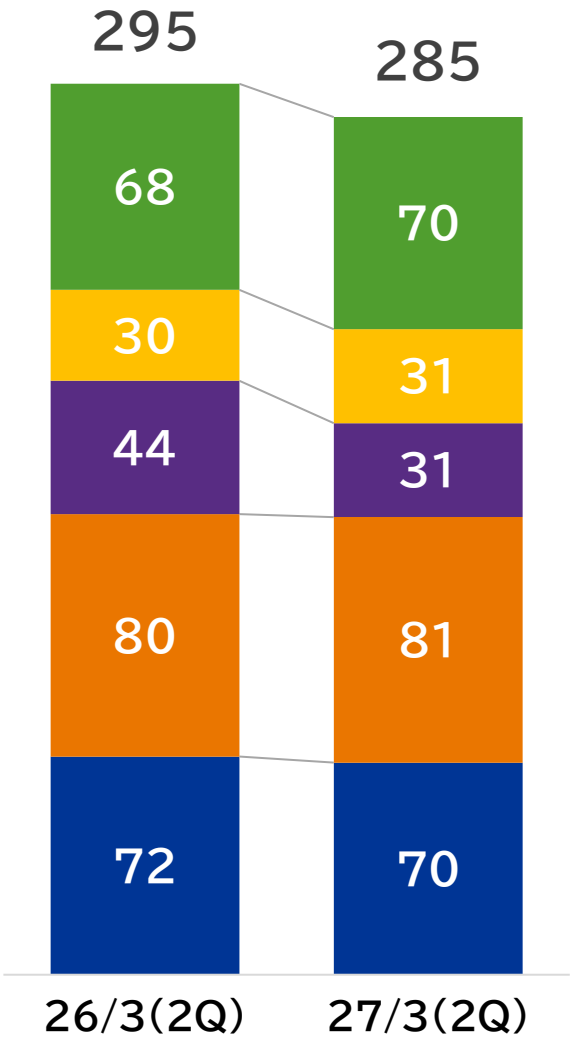
（金額単位：億円）



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

4）事業別売上高の増減

（金額単位：億円）



	前年同期比（増減率）	2027年3月期 第2四半期の事業概況
売上計	△ 10億円（△ 3.4%）	—
プロダクトソリューション	＋ 2億円（＋ 3.5%）	● GISパッケージなどのストック型サービスは堅調に推移 ● 住宅地図帳などのフロー商材は減少傾向が継続
マーケティングソリューション	＋ 1億円（＋ 6.0%）	● エリアマーケティングソリューション売上が増加 （2026年4月1日付でマップマーケティング社の事業を承継）
公共ソリューション	△ 12億円（△ 28.4%）	● 前期受託案件（国勢調査）、消防向け地図データ提供の反動減 （期首業績予想に織り込み済み）
インフラソリューション	＋ 0億円（＋ 0.5%）	● 前期受託案件の反動はあるものの、ZENRIN Maps API が堅調に推移し、全体としては前期並み
モビリティソリューション	△ 2億円（△ 3.0%）	● 当社データ採用モデルの販売減少（モデル終焉の影響を含む） ● 海外子会社の受託ビジネス縮小（前期の低採算受託ビジネスの見直し）による影響

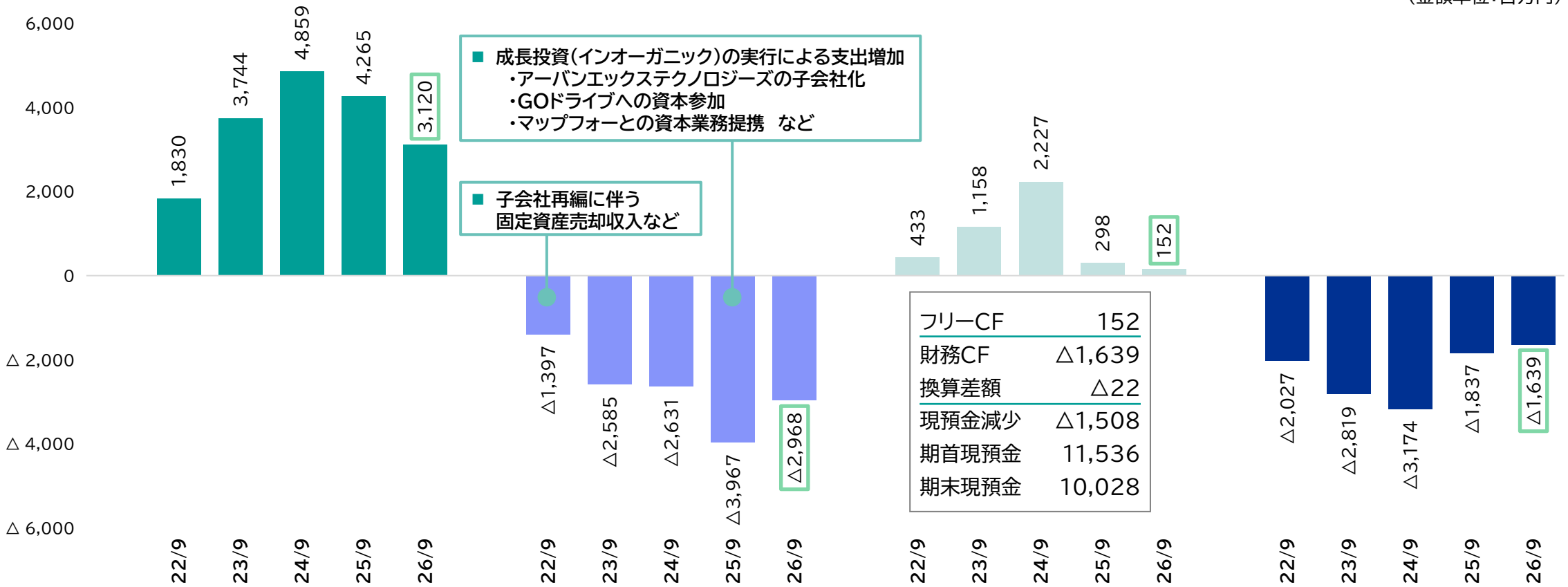
（参考）国内自動車販売台数	前期	当期	増減率
2Q累計（4月 ～ 9月）	218万台	229万台	+5.1%
2Q期間（7月 ～ 9月）	111万台	115万台	+3.4%

（出典元：㈳日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会の公表値を当社で合算）

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

5）キャッシュ・フロー

（金額単位：百万円）



	営業CF	投資CF	フリーCF	財務CF
27/3(2Q)	3,120百万円収入	2,968百万円支出	152百万円収入	1,639百万円支出
前年同期比	1,144百万円 収入減	999百万円 支出減	145百万円 収入減	198百万円 支出減

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

6）配当金

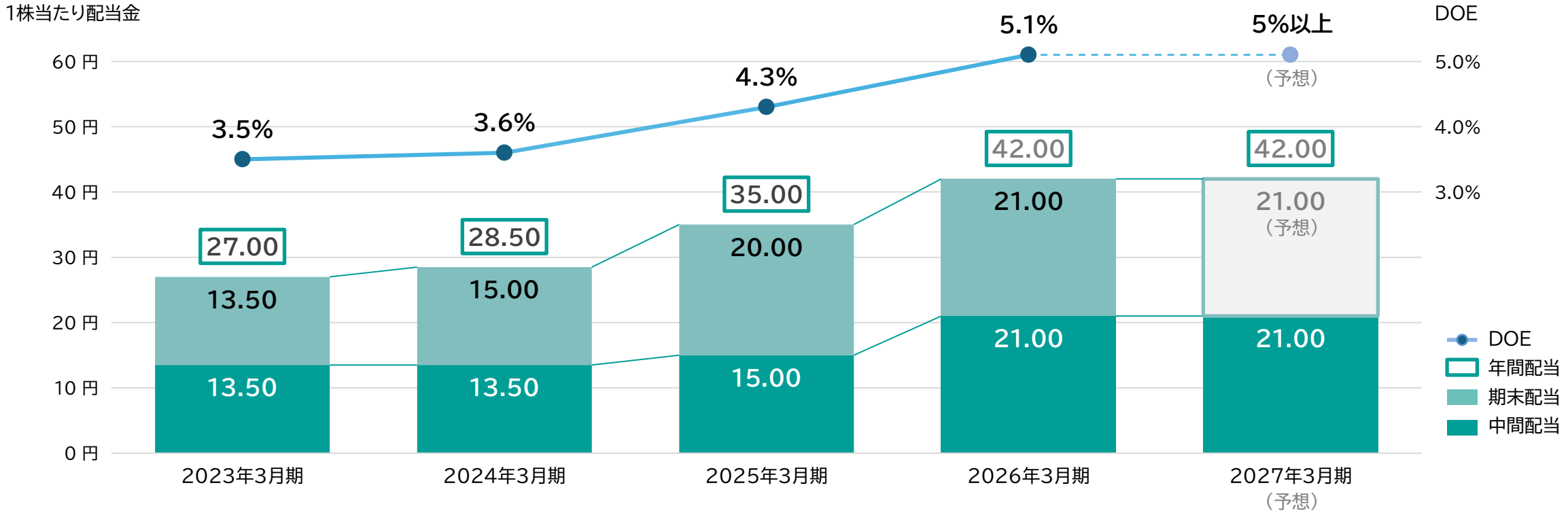
利益還元の基本方針

中長期経営計画における利益成長に基づき
安定的・継続的な配当の実施に加え、機動的な自己株式の取得を実施

配当

＜2027年3月期＞　中間 21円 、期末 21円(予想) 、年間 42円(予想) ／ DOE 5%以上(予想)

- 1994年9月の福証上場以来、**普通配当の減配なし**
- 2026年3月期以降、DOE目標を従来の3%以上から**5%以上に引き上げ**



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

2. 2027年3月期 通期業績予想

ZENRIN
Maps to the Future

1）通期業績予想（2026年10月29日修正）
2）EBITDA・営業利益の増減 【売上高・費用内訳】（前期比）
3）EBITDA・営業利益の増減 【売上高・費用内訳】（期首予想比）
4）事業別売上高の増減
5）ZGP2030 1st Stage キャピタルアロケーション

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

1）通期業績予想（2026年10月29日修正）

ZENRIN
Maps to the Future

通期業績予想のポイント　【 売上高予想は660億円を据え置く一方、営業利益予想を14億円下方修正 】

- 上期実績および下期見通しを踏まえ、通期業績予想を修正。
- 売上高予想は、一部事業の減収を見込む一方、Will Smartの新規連結による増収効果を織り込み、660億円を据え置き。
- 利益予想は、一部事業の減収や売上構成の変化による利益率低下などを踏まえ、営業利益を36億円から22億円へ下方修正。
  親会社株主に帰属する当期純利益は24億円を見込む。

（金額単位：百万円）

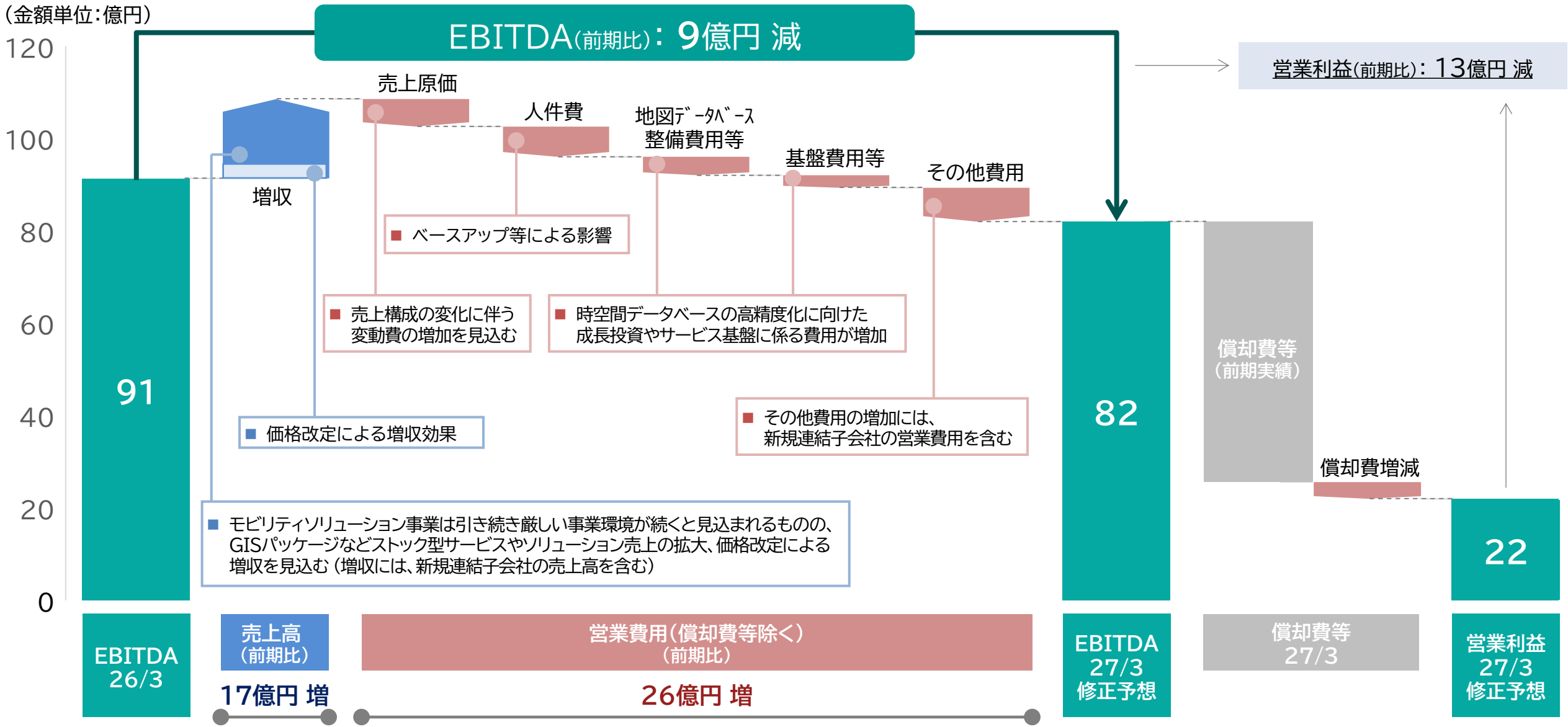
	① 前期実績（2026年3月期）	当期（2027年3月期）					
		② 期首予想	③ 修正予想	前期比（③－①）	増減率	期首予想比（③－②）	増減率
売上高	64,277	66,000	**66,000**	＋ 1,722	＋ 2.7%	0	0.0%
営業費用	60,775	62,400	**63,800**	＋ 3,024	＋ 5.0%	＋ 1,400	＋ 2.2%
EBITDA （EBITDAマージン）	9,137 14.2%	9,500 14.4%	**8,200** **12.4%**	△ 937 △ 1.8pt	△ 10.3% -	△ 1,300 △ 2.0pt	△ 13.7% -
営業利益 （営業利益率）	3,502 5.4%	3,600 5.5%	**2,200** **3.3%**	△ 1,302 △ 2.1pt	△ 37.2% -	△ 1,400 △ 2.2pt	△ 38.9% -
経常利益	3,866	3,900	**2,600**	△ 1,266	△ 32.8%	△ 1,300	△ 33.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,738	2,500	**2,400**	△ 338	△ 12.4%	△ 100	△ 4.0%
ROE （自己資本当期純利益率）	5.5%	5.1%	**4.9%**	△ 0.6pt	-	△ 0.2pt	-

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

2）EBITDA・営業利益の増減 【売上高・費用内訳】（前期比）

ZENRIN
Maps to the Future

（金額単位：億円）

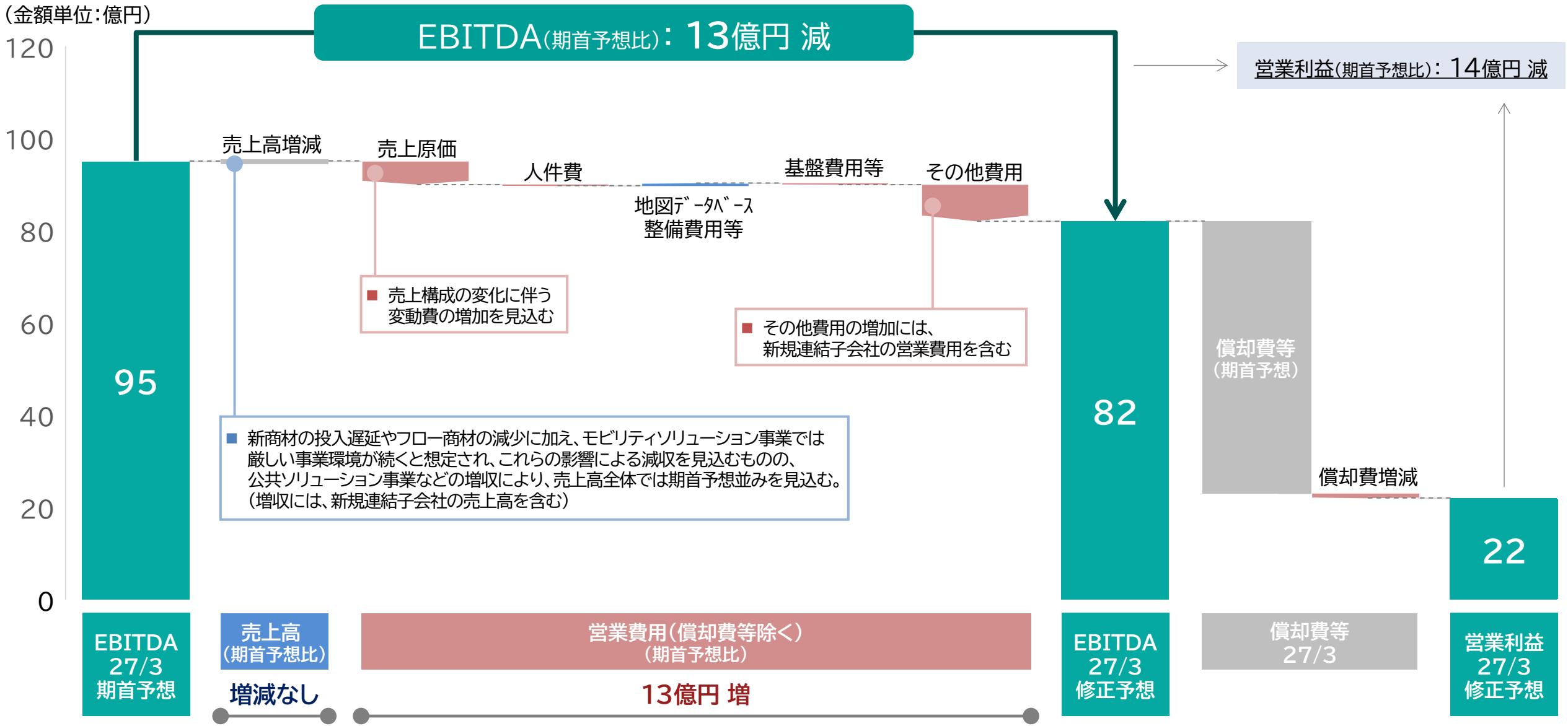


© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

3）EBITDA・営業利益の増減 【売上高・費用内訳】（期首予想比）

ZENRIN
Maps to the Future

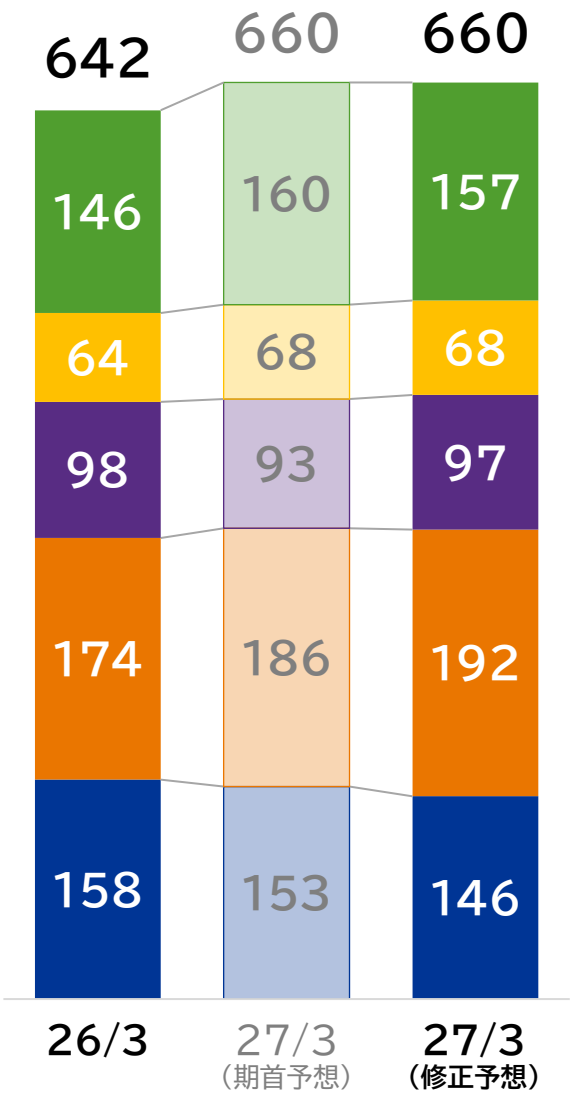
（金額単位：億円）



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

4）事業別売上高の増減

（金額単位：億円）



	前期比（増減率）	期首予想比（増減率）	2027年3月期の見通し
売上計	＋ 17億円（＋ 2.7%）	± 0	―
プロダクトソリューション	＋ 10億円（＋ 7.2%）	△ 3億円（△ 1.9%）	● GISパッケージ等ストック型サービスの拡販、価格改定効果で前期比増収 ● 新商材の投入遅延、フロー商材の減少傾向継続により、期首予想比では減収見込み
マーケティングソリューション	＋ 3億円（＋ 5.2%）	± 0	● 事業承継したマップマーケティング社の新たな顧客基盤を活用し、「ArmBox」「OricomiBox」など、ストック商材の拡販強化で増収（期首予想から変更なし）
公共ソリューション	△ 1億円（△ 1.5%）	＋ 4億円（＋ 4.3%）	● 前期受託案件（国勢調査）、消防向け地図データ提供の反動減はあるものの、受託案件の開拓・強化で、期首予想比では増収見込み
インフラソリューション	＋ 17億円（＋ 9.7%）	＋ 6億円（＋ 3.2%）	● ZENRIN Maps APIが堅調に推移 ● 重点業種・業務への提案強化やパートナー活用により案件の早期受注化を推進し、前期比・期首予想比ともに増収見込み（新規連結子会社の売上を含む）
モビリティソリューション	△ 12億円（△ 7.7%）	△ 7億円（△ 4.6%）	● 当社データ採用モデルの販売減少や、自動車関連各社の戦略・開発方針の影響による受託案件の減少により、前期比・期首予想比ともに減収見込み

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

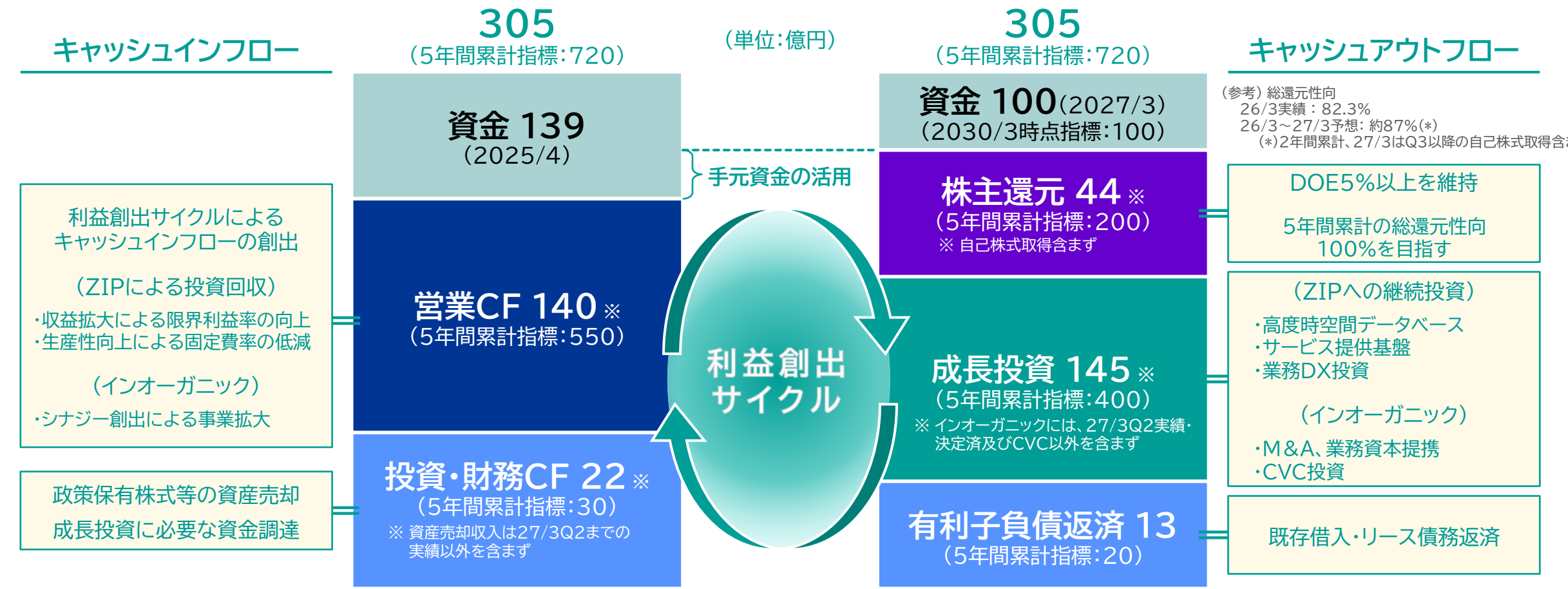
5）ZGP2030 1st Stage キャピタルアロケーション

ZENRIN
Maps to the Future

・業績予想の修正に伴い、1st Stageの2期間（26年3月期実績＋27年3月期修正予想）の営業CFは140億円となる見通し
・投資有価証券の売却や借入などで調達した資金を、サービス開発等への投資・ベンチャーへの出資等を含む成長投資に配分
・株主還元として、配当はDOE5%以上とし、2nd Stageでの利益成長を含めZGP2030の5年間累計総還元性向100%を目指す

■ 1st Stage（2026年3月期 実績＋2027年3月期 修正予想）イメージ（記載金額は概算）

※ 5年間累計指標：中長期経営計画（ZGP2030）の対象期間である2026年3月期～2030年3月期の累計数値を記載しております。



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

3. 各事業の概況

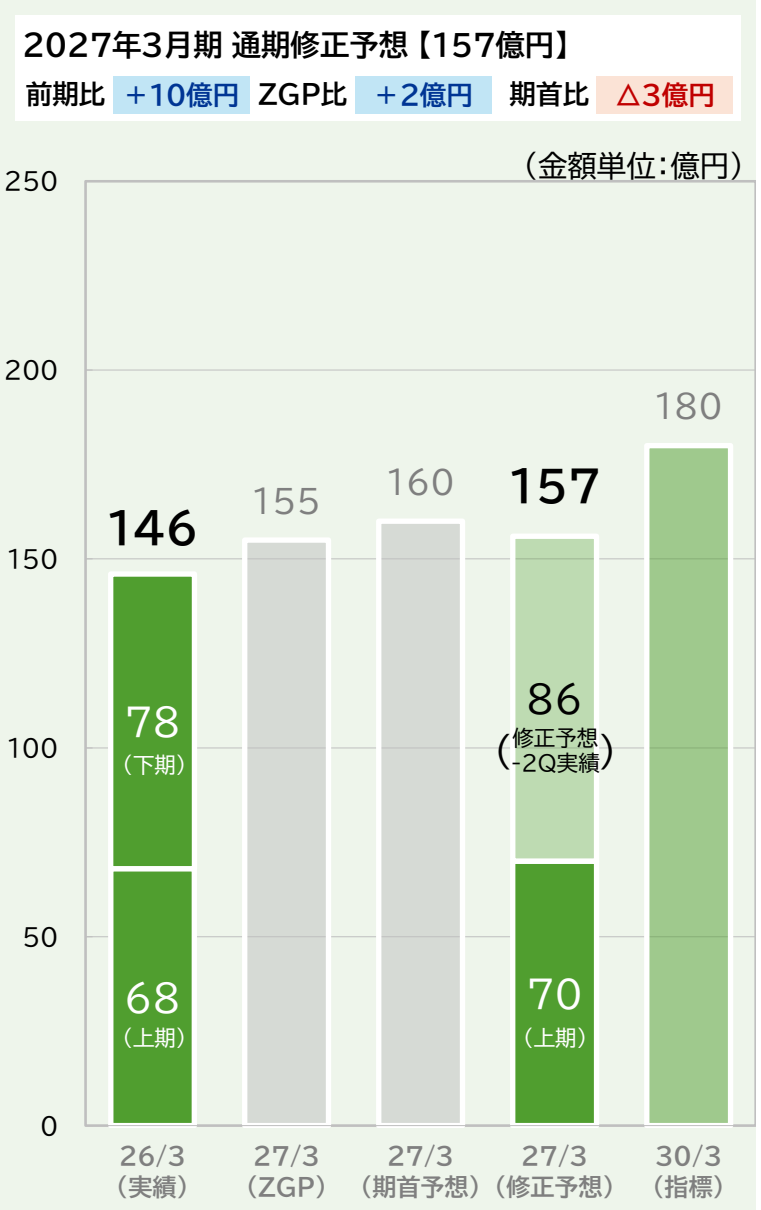
ZENRIN
Maps to the Future

1）プロダクトソリューション事業
2）マーケティングソリューション事業
3）公共ソリューション事業
4）インフラソリューション事業
5）モビリティソリューション事業
6）トピックス：Preferred Networks社と業務資本提携を発表

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

1）プロダクトソリューション事業

ZENRIN
Maps to the Future



ZGP2030 方針	新規サービス（セレクション）の市場投入と既存サービス（パッケージ）の幅広いラインナップでさらなるストックビジネスの拡大

【本事業の位置づけ・ZGP2030進捗】 進捗評価：概ね順調

- ビジネスモデルの転換を担う基幹事業として、ストック商材を中心にビジネス拡大を推進
- 売上高はZGP2030当初目標を上回る水準で推移しており、収益構造改革も順調
- ストック比率向上と新サービス投入を通じ、事業成長と安定的な収益基盤の構築を推進

上期進捗（概況）

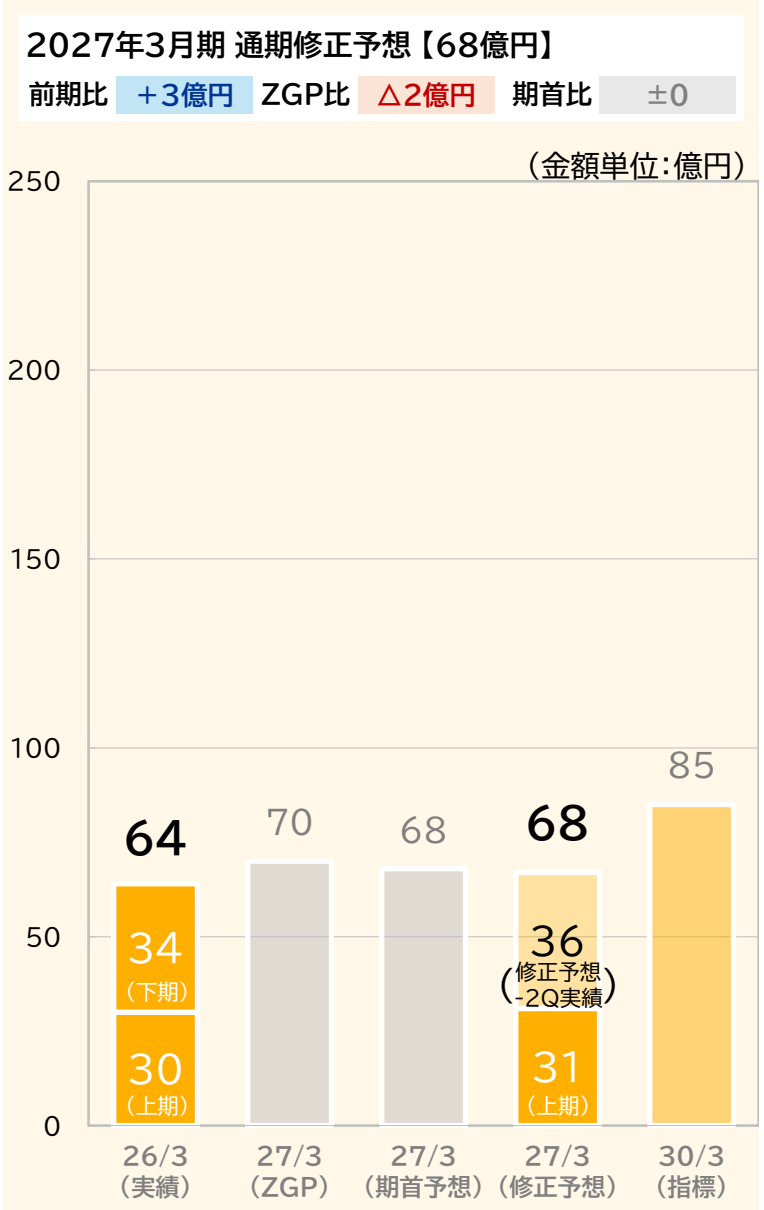
- GISパッケージなどのストック型サービスは堅調に推移し概ね計画どおりに進捗
- 住宅地図帳などのフロー商材の減少傾向が拡大
- 売上高は前期比で増収となったものの、新商材の市場投入遅延により期首予想からは若干の遅れ

下期取り組み

- セミオーダー型業務支援クラウドサービス「ZENRIN Maps Studio」の本格展開
- GISパッケージ等のストック型サービスは拡販継続、価格改定効果とあわせ前期比で増収寄与
- 不動産BtoBマッチングサービス「まっちず」を下期に投入。約3万IDの顧客基盤を持つ「GISパッケージ不動産」と連携し拡販を狙う

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

2）マーケティングソリューション事業



ZGP2030 方針	個々のマーケティング課題に最適化したサービスで 個店から企業まで幅広い顧客を獲得

【本事業の位置づけ・ZGP2030進捗】 進捗評価：やや遅延

- 従来型の販促支援（DM、商業印刷等）から、地理空間情報を活用した一連のトータルマーケティングサービスへの転換を担う事業
- ストック型クラウドサービスの展開や同業他社の事業承継による顧客基盤の拡大など、中長期成長に向けた土台を構築

上期進捗（概況）

- 商圏分析ツール「TerraMapシリーズ」などを展開するGISエリアマーケティング業界大手のマップマーケティング社の事業承継により顧客基盤が拡大し、売上増加
- 一部既存顧客の販促需要低迷の影響を受けたものの、全体では概ね計画どおり

下期取り組み

- 拡大した顧客基盤を活用し、既存ストック商材の販売強化によりビジネスを拡大
- 既存フロー型サービスのリピート顧客を軸に、ストック化・地域販促サービスモデルを企画
- ストック商材のラインナップ拡充

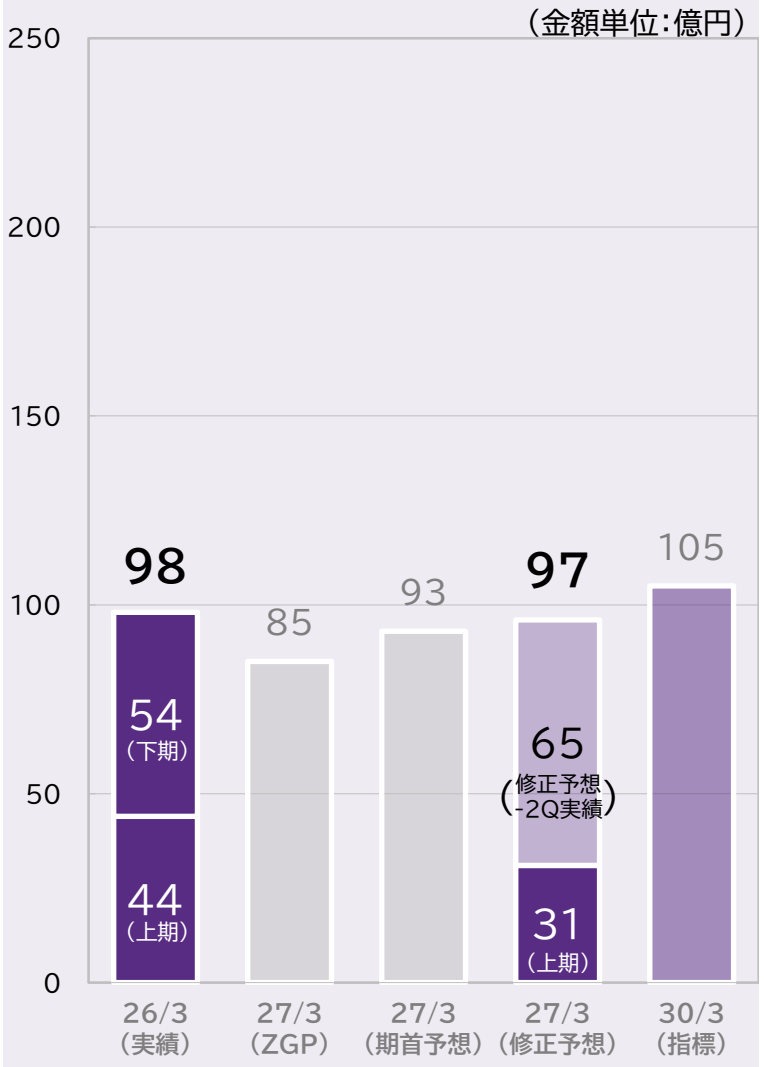
© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

3）公共ソリューション事業

ZENRIN
Maps to the Future

2027年3月期 通期修正予想【97億円】

前期比 △1億円　ZGP比 ＋12億円　期首比 ＋4億円



ZGP2030 方針	省庁・地域の課題を解決するソリューションビジネスの強化・標準化と 新規サービス（セレクション）の市場投入でストックビジネスを本格化

【本事業の位置づけ・ZGP2030進捗】 進捗評価：好調

- 自治体・官公庁向けに、社会課題解決支援を担う重点成長事業
- 市場環境は引き続き良好であり、省庁・自治体の社会課題を起点に、防災・空き家・交通・観光DXなどへ領域を拡大
- 足元では、前期に一過性の増収影響あり

上期進捗（概況）

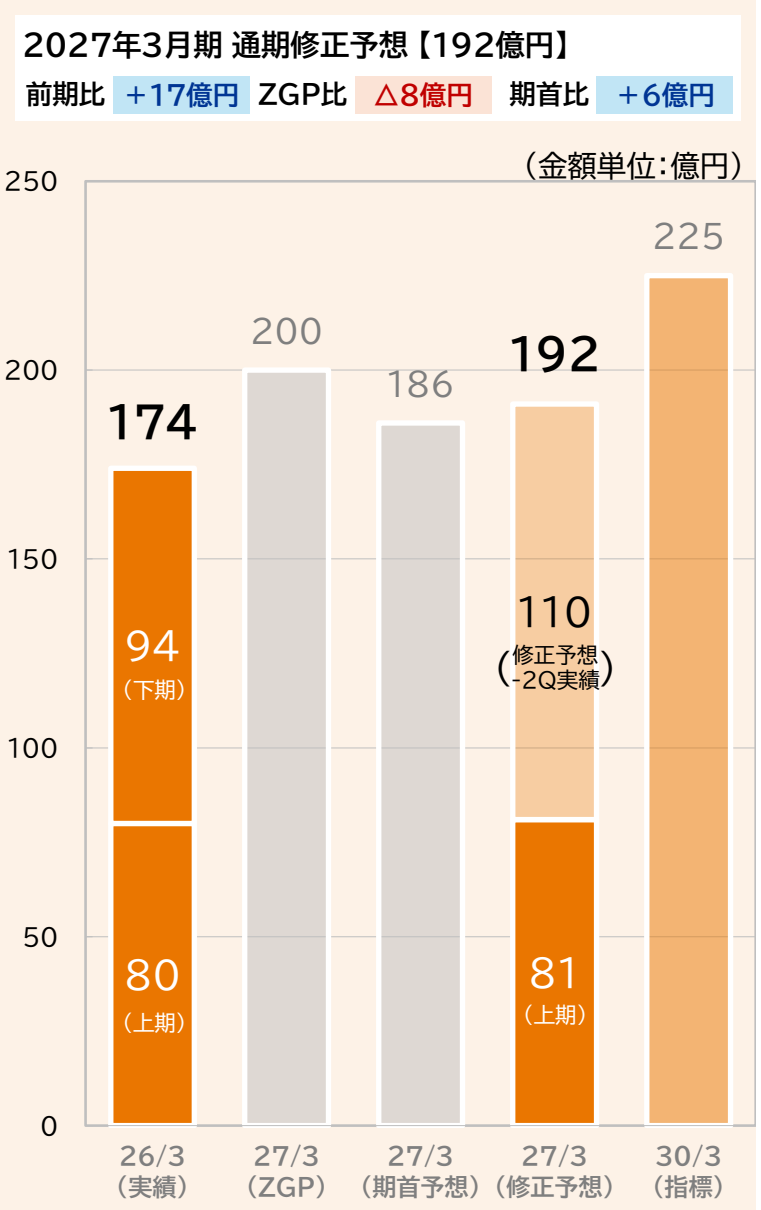
- 前期受託案件（国勢調査）、消防向け地図データ提供の反動減
（業績予想に織り込み済み）
- 省庁向けや、自治体の防災・空き家などの受託案件は下期にかけて提案中

下期取り組み

- 防災庁の発足など防災体制の強化が進む中、自治体と連携し、地理空間情報を活用した災害リスクの周知や地域の防災・減災を支援
- 自治体の防災・空き家など受託案件のクロージングや、省庁向け案件獲得などにより、下期期間としては前年同期比で大幅増収を見込み、通期も期首予想比で増収を見込む

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

4）インフラソリューション事業



ZGP2030 方針	物流・不動産分野など、産業インフラを担う大手企業との共創により ソリューションビジネスを拡大

【本事業の位置づけ・ZGP2030進捗】 進捗評価：やや遅延

- 不動産・物流など、産業インフラ分野におけるソリューションサービスの拡大を担う成長ドライバー
- APIサービスは順調に拡大し、中長期成長の基盤形成は着実に進展するも、全体進捗としてはやや遅延
- 今後の成長に向け、事業領域の拡大やサービスの高付加価値化を加速

上期進捗（概況）

- 前期受託案件の反動はあるものの、ZENRIN Maps APIが堅調に推移
- 新規ソリューション獲得に向けた提案が進展
- 業種・業務別のAIエージェント活用など、新たなサービス企画を推進

下期取り組み

以下取り組み等により、通期は前期比・期首予想比ともに増収を見込む（新規連結子会社の売上を含む）

- ターゲット業種・業務に向けた案件の早期受注化、パートナー活用による販路拡大
- Preferred Networks社との協業を推進し、GeoAIソリューションの事業化を加速

P.21 トピックス参照

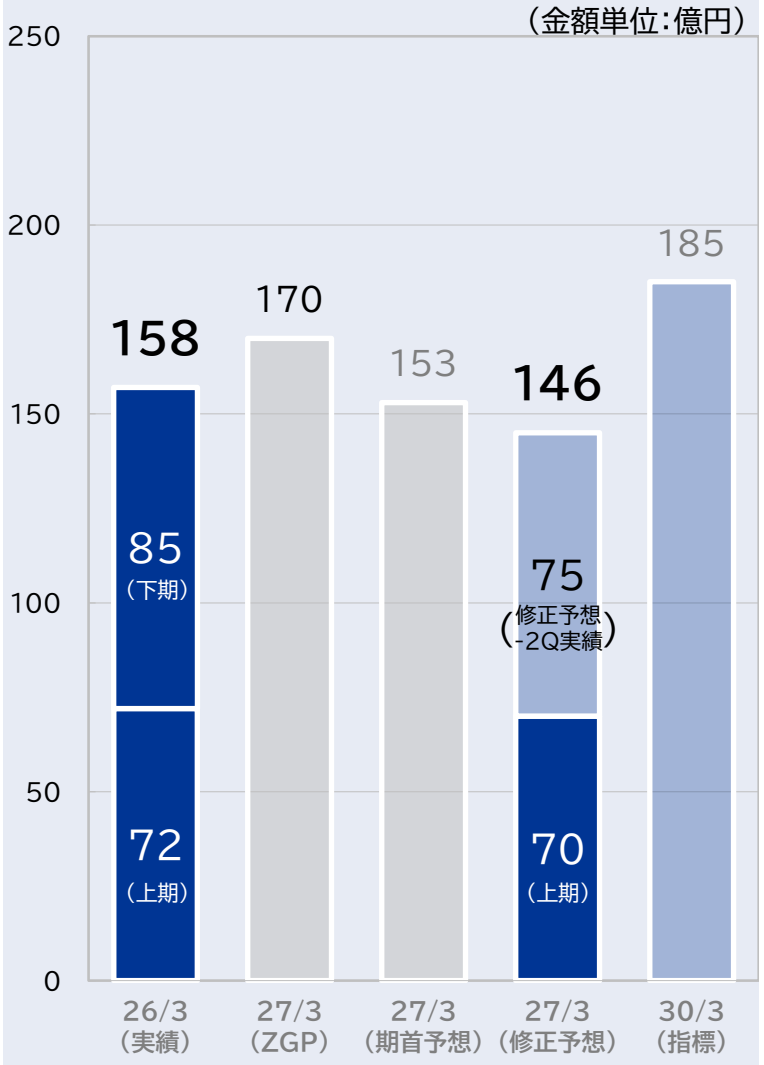
© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

5）モビリティソリューション事業

ZENRIN
Maps to the Future

2027年3月期 通期修正予想【146億円】

前期比 △12億円 ZGP比 △24億円 期首比 △7億円



ZGP2030 方針	既存ナビビジネスのシェア拡大と、EV/AD/ADAS等 次世代自動車サービスのソリューションパートナーとして高度なモビリティ社会を支援

【本事業の位置づけ・ZGP2030進捗】 進捗評価：遅延

- カーナビを中心とした自動車向けデータ事業の収益基盤を維持しながら、SDV・自動運転時代への転換を担う戦略事業
- 市場環境の影響を受け、ZGP2030計画に対しては大幅な遅れが生じている
- 既存ビジネスから、SDV・自動運転領域での収益モデル確立を急ぐ

※ SDV（Software Defined Vehicle）： ソフトウェア定義型自動車。ソフトウェアによって機能や性能が決定・拡張される次世代の自動車

上期進捗（概況）

- 国内自動車販売は回復基調にあるものの、当社採用モデルの販売減少が収益を押し下げ
- 通信ナビなどの次期モデルへの採用拡大を通じて市場シェアの拡大を推進
- SDV・自動運転領域の提案活動を継続し、将来案件のパイプライン形成が進展

下期取り組み

- 当社データ採用モデルの販売・生産台数減少が継続する見込み
- 次世代車両開発に関する自動車関連各社の戦略・開発方針の影響により、開発受託案件の減少を見込む
- 次世代SD-MAPなど、SDV・自動運転領域を支援するソリューションの提供により、協業・提案活動を強化し、将来案件のパイプライン形成を推進

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

6）トピックス：Preferred Networks社と業務資本提携を発表 2026.10.29

ZENRIN Maps to the Future

地理空間情報×AIによる高付加価値サービスの創出で、ZGP2030の取り組みを加速

1 提携の背景
新たな市場機会と当社グループの戦略

外部環境の変化

社会課題の複雑化
人口減少、インフラ老朽化、災害リスクなど
データに基づく意思決定の重要性が増大

地理空間情報の重要性の高まり
都市計画、物流・モビリティ、防災など
あらゆる社会・産業で「場所」の情報が不可欠に

GeoAIのニーズ拡大
生成AI・マルチモーダルAIの進化により
位置情報や時間的変化を扱うAIへの期待が高まる

AI-Readyな高品質データ需要の拡大
AIが正しく理解・活用できる
高品質な地理空間データへの需要が増大

ZGP2030の重点施策

- 地理空間情報の活用による社会・地域課題の解決
- 時空間データベースの高度化

市場機会を捉えてZGP2030を達成すべく
AI活用による提供価値向上が必要

2 提携の目的
最適なパートナーとの共創でZGP2030の推進を加速

ZENRINグループ
地理空間情報の
リーディングカンパニー

- 高精度・高鮮度の地理空間情報
- 時間軸を持ち構造化されたデータ資産
- 業界・業務知見
- 多様な顧客基盤 現場接点

Preferred Networks
日本を代表する
AIイノベーション企業

- AI半導体・計算基盤
- 生成AI基盤モデル
- プロダクト・ソリューション開発力
- 社会実装の実績

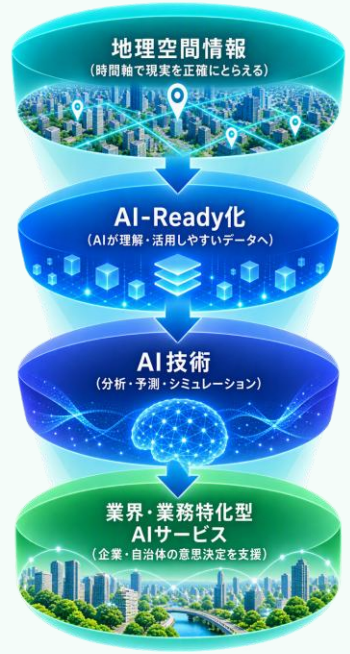
高品質な地理空間情報 × 先端AI技術

業務資本提携

両者の強みを掛け合わせ
これまでにない高付加価値サービスを創出、早期の事業化へ

3 創出する価値
地理空間情報×AIで、社会的価値創造と持続的成長へ

「業界・業務特化型AIサービス」の提供により
企業・自治体の意思決定を支援



主な活用領域（例）

公共・自治体
- 地域の変化予測
- 空き家対策
- 都市計画

不動産・小売
- 施設需要の予測
- 用地・物件評価
- 店舗出店・適地選定

物流・モビリティ
- 交通需要予測
- 物流拠点の立地分析
- 物流網の最適化

防災
- 災害リスクの予測
- 避難計画の最適化
- 被害シミュレーション

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

Appendix

ZENRIN
Maps to the Future

2027年3月期 第2四半期(中間期) 実績

1) 四半期別の収益傾向
2) 設備投資額・減価償却費・研究開発費

2027年3月期 通期業績予想

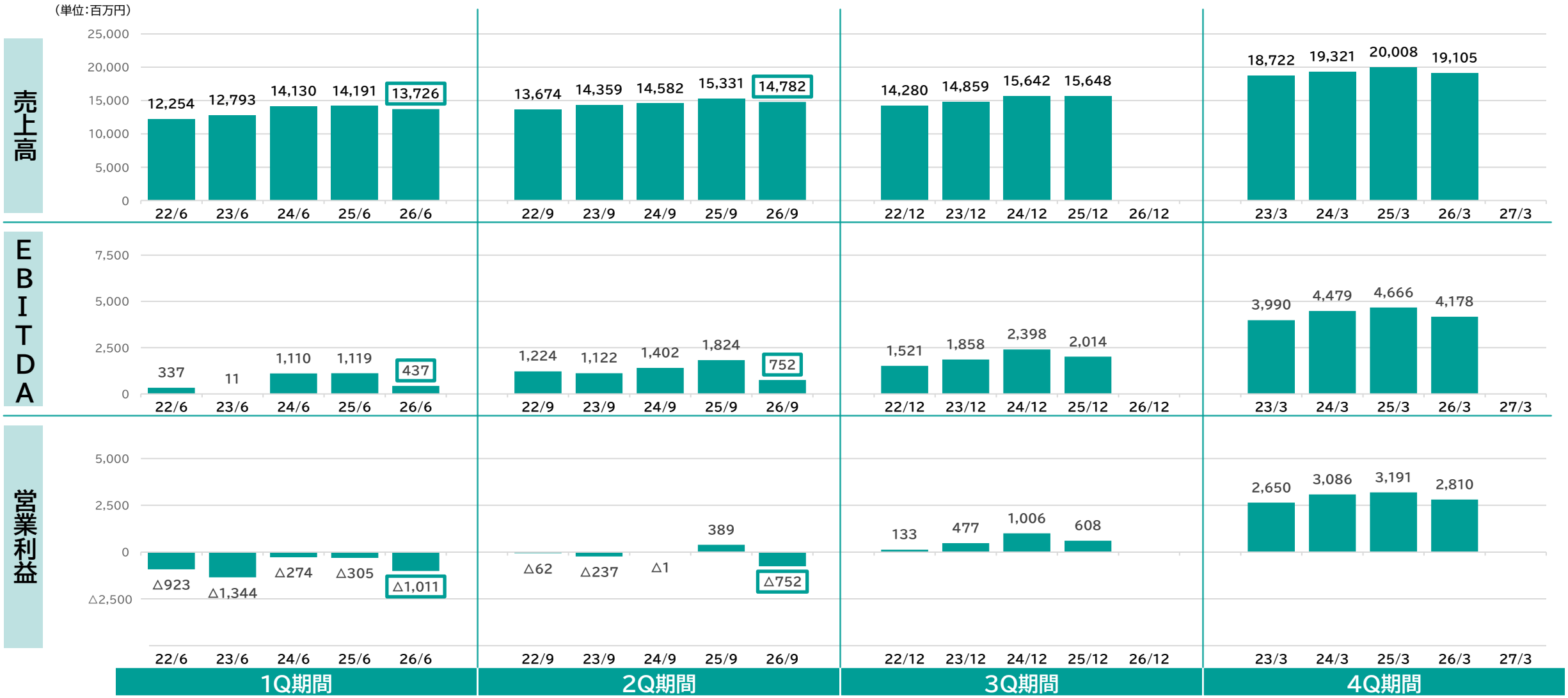
1) 売上高・利益の推移
2) 四半期売上高構成比率の推移
3) 事業別売上高の四半期別推移
4) 設備投資額・減価償却費・研究開発費

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

1）四半期別の収益傾向

ZENRIN
Maps to the Future

各四半期の売上高・EBITDA・営業利益の推移

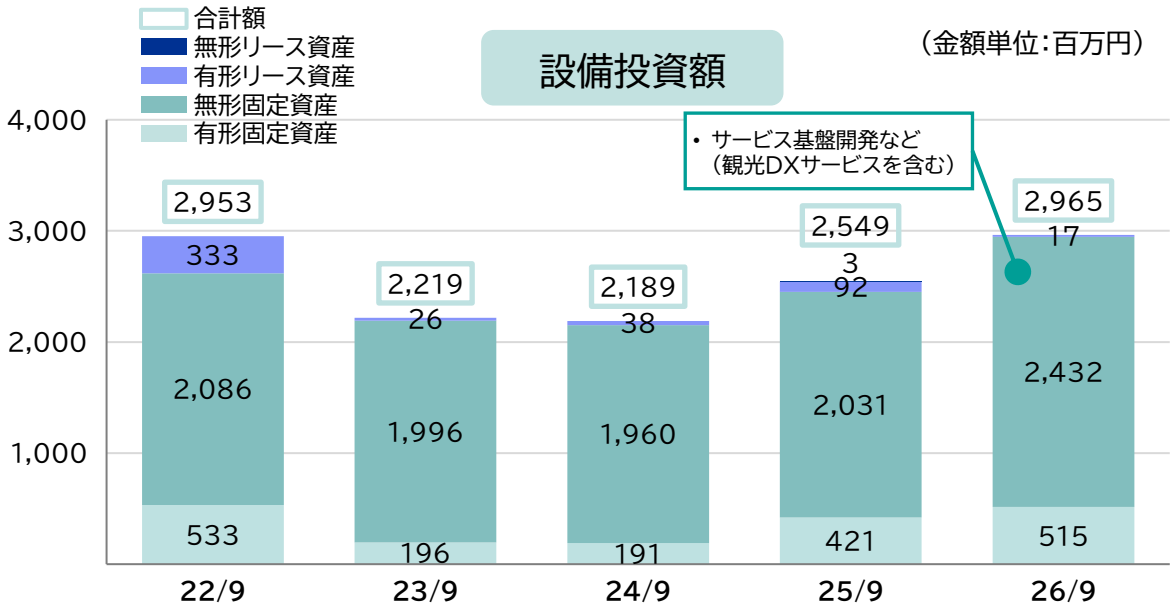


© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

2）設備投資額・減価償却費・研究開発費

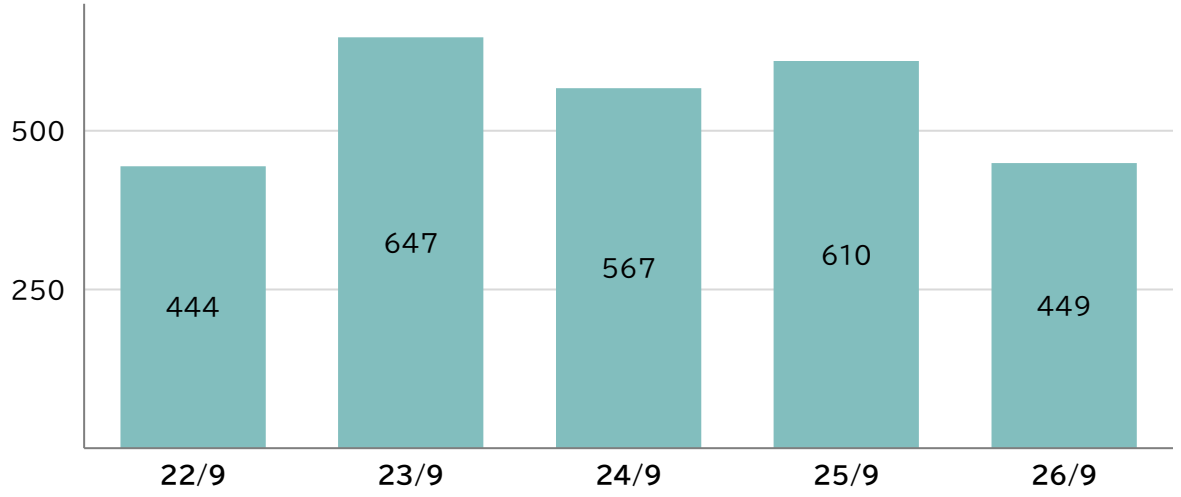
設備投資額

（金額単位：百万円）



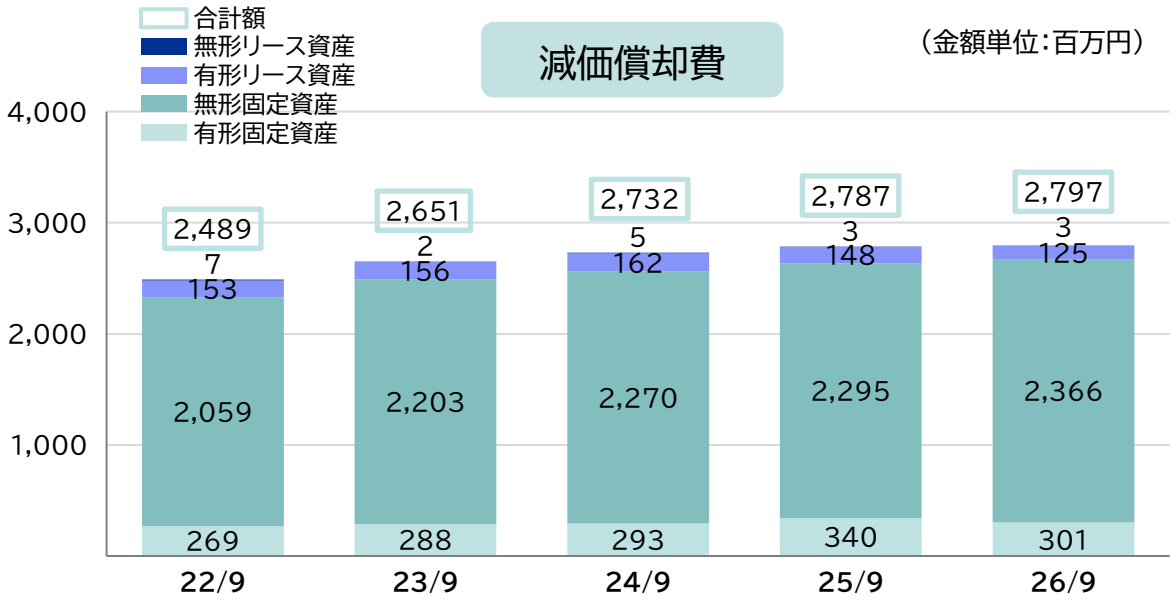
研究開発費

（金額単位：百万円）



減価償却費

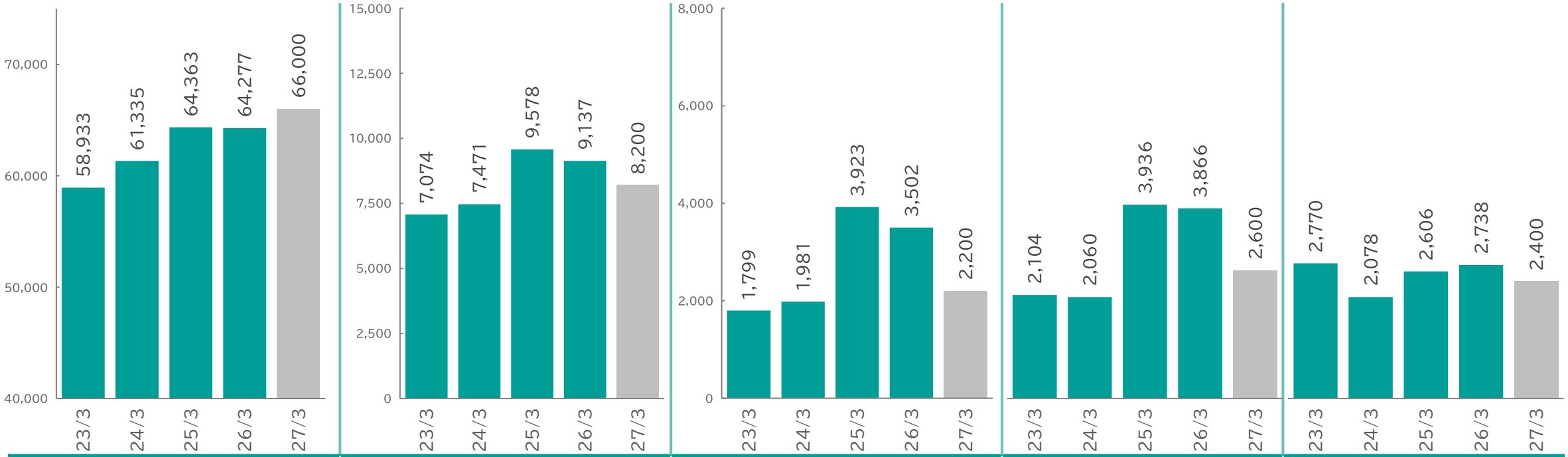
（金額単位：百万円）



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

1）売上高・利益の推移

（金額単位：百万円）



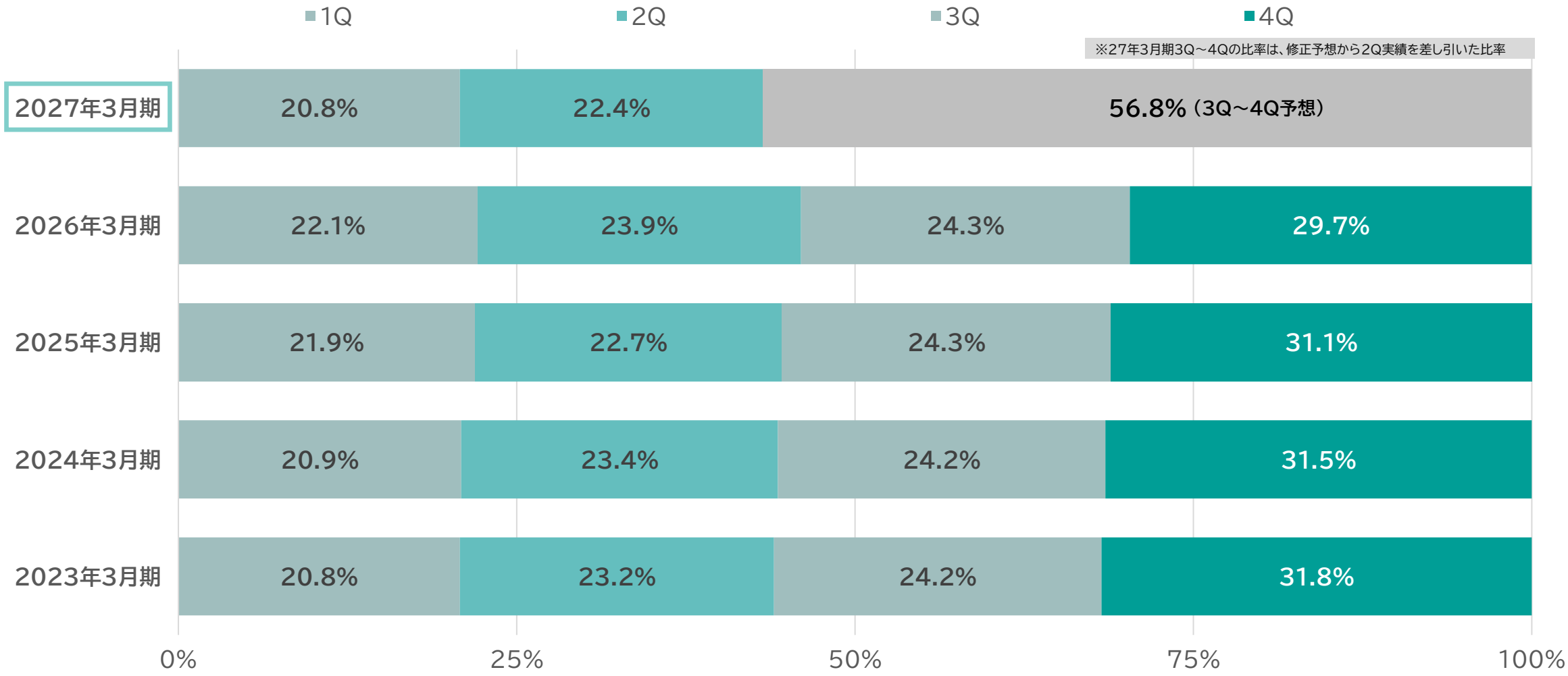
	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前期比（増減率）	＋ 1,722百万円（＋ 2.7%）	△ 937百万円（△ 10.3%）	△ 1,302百万円（△ 37.2%）	△ 1,266百万円（△ 32.8%）	△ 338百万円（△ 12.4%）
	2期ぶり 増収	2期連続 減益			3期ぶり 減益

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

2）四半期売上高構成比率の推移

ZENRIN
Maps to the Future

従来より当社グループの売上高は季節的変動が著しく、年度末に売上が集中する傾向

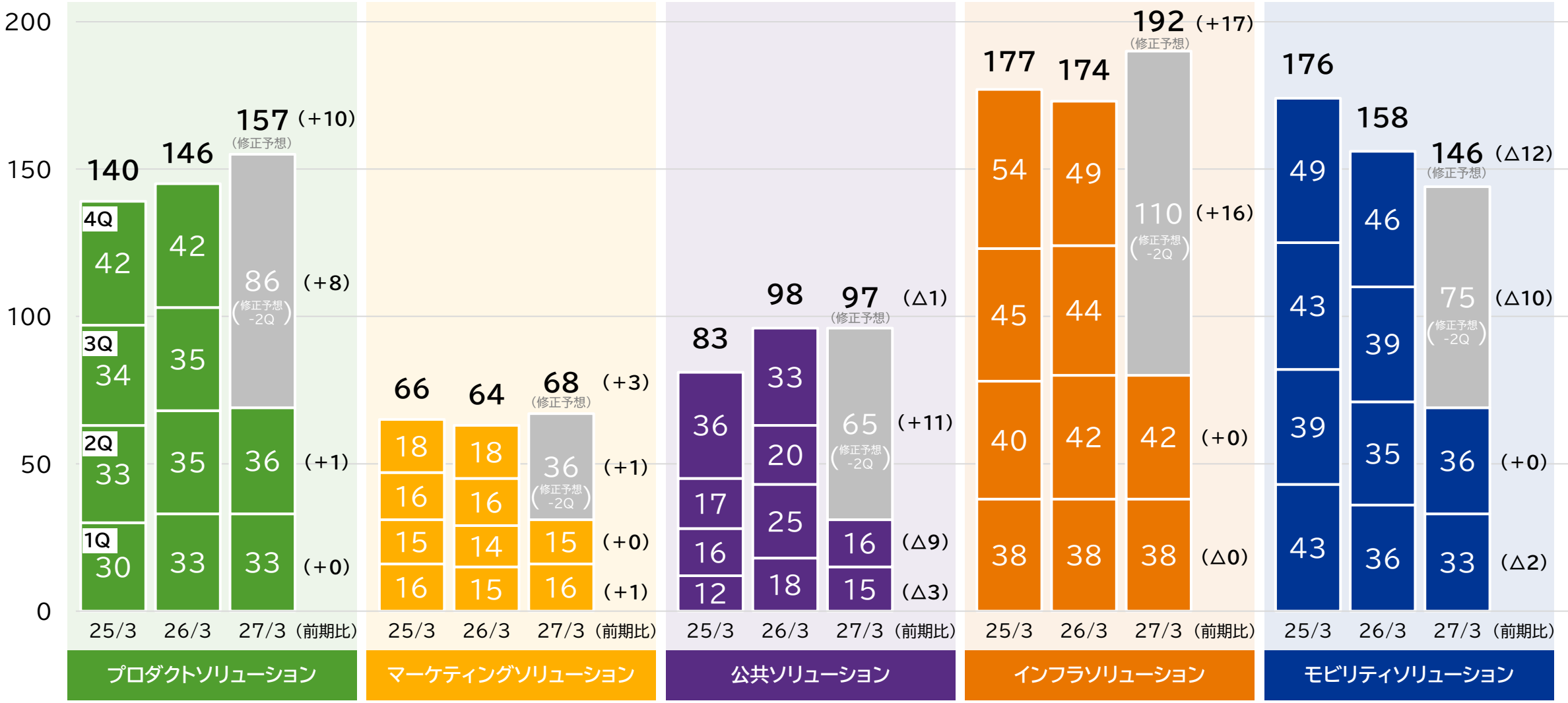


© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

3）事業別売上高の四半期別推移

ZENRIN
Maps to the Future

（金額単位：億円）



※ 25年3月期の数値は、中長期経営計画（ZGP2030）の事業区分に組み替えて表示しております。

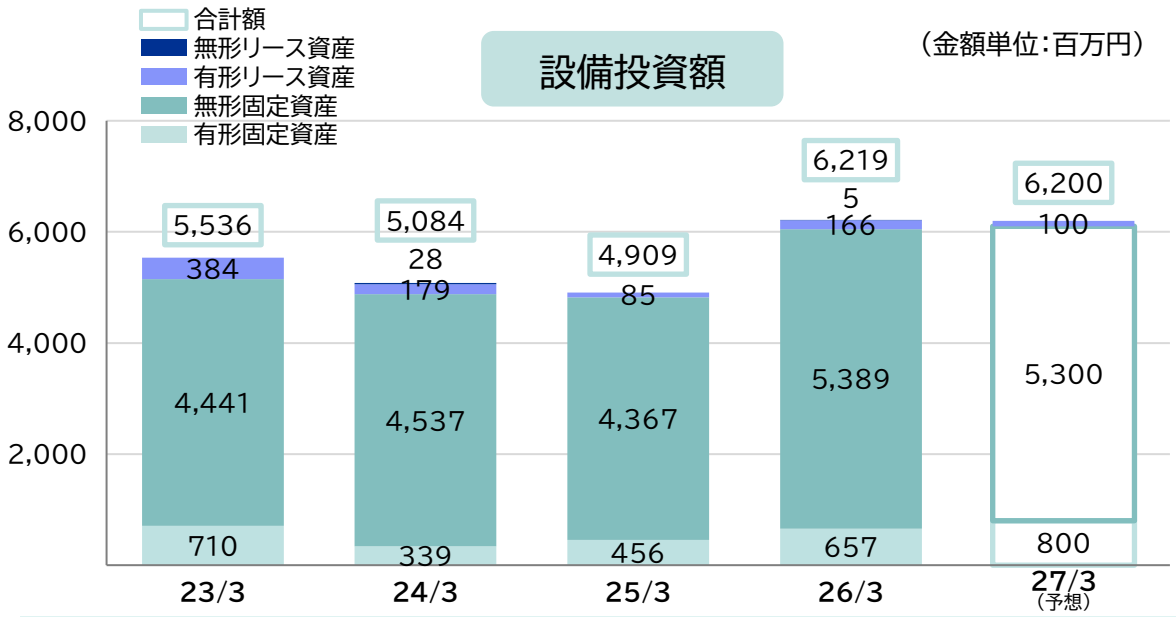
© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

4）設備投資額・減価償却費・研究開発費（2026年10月29日修正後も、概ね期首予想並みのため据え置き）

ZENRIN
Maps to the Future

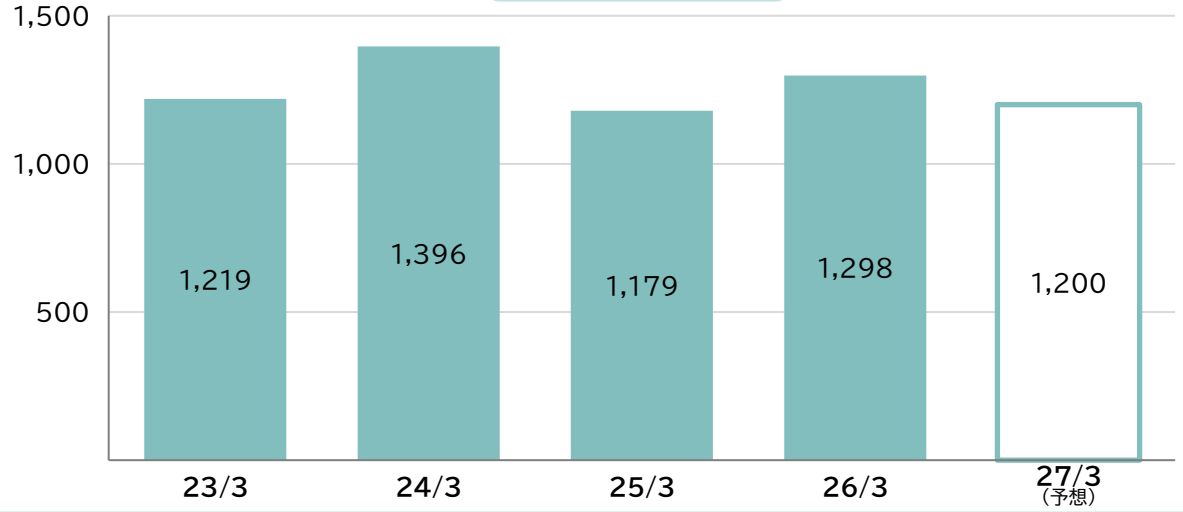
設備投資額

（金額単位：百万円）



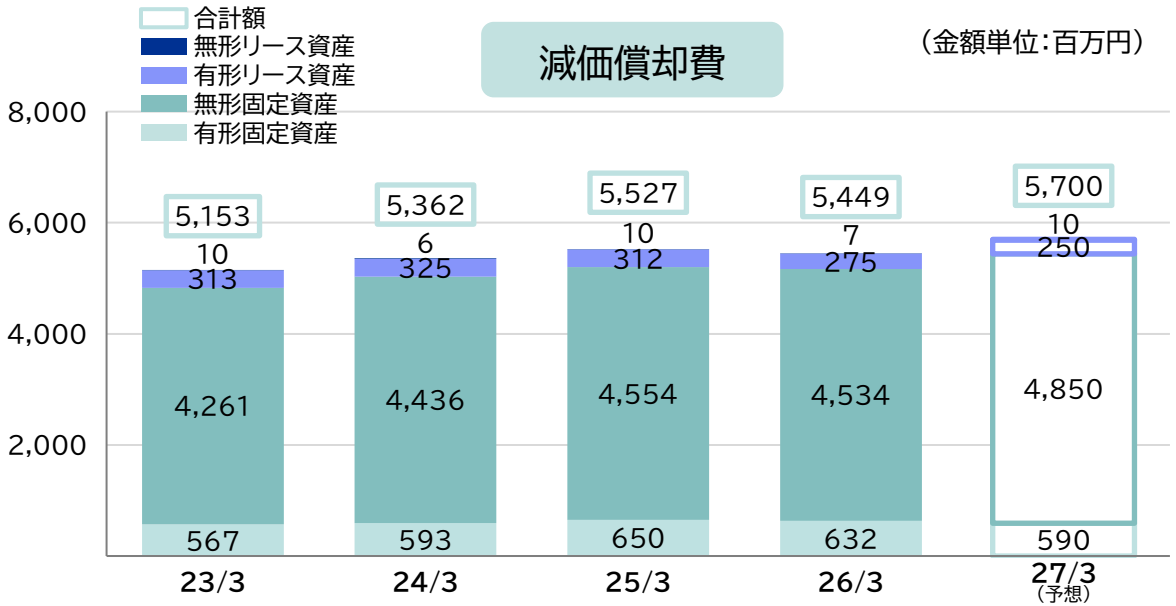
研究開発費

（金額単位：百万円）



減価償却費

（金額単位：百万円）



© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン　https://www.zenrin.co.jp

IRお問い合わせ先　zenrin-ir@zenrin.co.jp
会社説明資料　https://www.zenrin.co.jp/ir/pdf/corporate profile.pdf